

平成29年度建築技術革新支援事業に関する審査基準について

平成29年度の事業について、技術審査委員会では、次のⅠ～Ⅲの手順で技術審査を行います。

Ⅰ 公募要領の確認

公募要領の6(1)～(4)に掲げる条件及び7(1)～(8)に掲げる要件を全て満たしていることを確認します。

Ⅱ 対象施設の工事への適合性の検討

対象施設に適合する可能性について検討します。

Ⅲ 技術審査

Ⅰ及びⅡの結果、選定対象とした技術（以下、「選定候補」という。）について、東京都が示す「公募要領」、「事業概要書」、「技術条件書」に基づき審査を行います。

1 評価項目について

性能基準、機能性、先進性、経済性及び施工性の5項目について審査を行います。

2 得点について

- ①別紙1～3「採点基準表」に記載のとおり、各項目の重み係数と採点とを掛けあわせて、それらの合計を得点とします。
- ②評価項目としては、基礎的な項目のほかに「特に配慮された工夫、提案がある場合」は、加点項目（「採点基準表」の網掛け部）の得点とします。

3 選定について

- ①選定候補のうち、最高の得点のものを1つ選定することとし、最高の得点が複数あった場合には、改めて検討します。
- ②最高の得点であっても、別紙「採点基準表」の「配点（基礎的な項目）計」欄の点数の50%未満の場合は、都が求める技術水準に達していないとみなし、選定しません。
- ③「採点基準表」において、都が指定する評価項目（細目）が、「技術条件書」に記載の基準または条件を満たさない場合は、それ以外の評価項目（細目）について、審査せず選定しません。

採点基準表

公募する新技術：都立府中高等学校改築工事におけるコンクリート面の外壁仕上げに用いる耐候性塗材に関する技術

1. 公募要領の確認

- ・適合している。→ 2. へ
- ・適合していない。→ 非選定 不適合要件(1つ以上で非選定)

6(1)(2)(3)(4)
7(1)(2)(3)(4)(5)(6)(7)(8)

2. 対象施設の工事への適合性

- ・工事に適合する可能性がある技術である。→ 3. へ
- ・工事に適合しない技術である。→ 非選定

3. 技術審査

評価項目	細目	重み 係数	採点 基準	配点	
A性能基準	耐候性	3	3	9	
	付着強さ	2	3	6	
	耐温度変化	2	1	2	
	防カビ	1	3	3	
	その他、性能を高める技術や提案	2	3	6	
B 機能性	耐汚染性	3	3	9	
	低VOC ※	3	3	9	
	その他、改修の容易性など機能性を高める工夫や特筆事項(第三者評価等)	2	3	6	
C 先進性	特許等の取得状況、技術論文の公表等	3	3	9	
D 経済性	イニシャルコスト	1	3	3	
	65年間のライフサイクルコスト	3	3	9	
E 施工性	施工実績 ※	2	3	6	
	その他、施工品質の均一化や工程の短縮等、施工性を高める特筆事項	2	3	6	
※ この評価項目(細目)が、「技術条件書」に記載の基準または条件を満たさない場合は、それ以外の評価項目(細目)について、審査を行わない。→ 非選定				配点計(基礎的な項目)	65
				配点計(加点項目)	18
				配点合計	83

<各基準ごとの採点基準(ただし、耐温度変化については除く)>

採点基準	
評価	点数
基準(標準)を大幅に上回るとともに、特に大きな効果が期待できる。または、明らかに随一である。	3
基準(標準)を上回っていることが明らかで、大きな効果が期待できる	2
概ね基準を満たしている	1
基準を満たしていない	0

<A性能基準のうち、耐温度変化の採点基準>

採点基準	
評価	点数
基準を満たしている	1
基準を満たしていない	0

採点基準表

公募する新技術：東京都渋谷合同庁舎(仮称)改築工事における外気の影響を受ける鉄部に用いる耐候性塗料に関する技術

1. 公募要領の確認

- ・適合している。→ 2. へ
- ・適合していない。→ 非選定 不適合要件(1つ以上で非選定)

{

 6(1)(2)(3)(4)
 7(1)(2)(3)(4)(5)(6)(7)(8)

}

2. 対象施設での工事への適合性

- ・工事に適合する可能性がある技術である。→ 3. へ
- ・工事に適合しない技術である。→ 非選定

3. 技術審査

評価項目	細目	重み 係数	採点 基準	配点	
A性能基準	耐候性	3	3	9	
	付着強さ	1	3	3	
	耐温度変化	2	3	6	
	防錆	3	1	3	
	その他、性能を高める技術や提案	2	3	6	
B 機能性	耐汚染性	3	3	9	
	低VOC ※	3	3	9	
	その他、改修の容易性など機能性を高める工夫や特筆事項(第三者評価等)	2	3	6	
C 先進性	特許等の取得状況、技術論文の公表等	3	3	9	
D 経済性	イニシャルコスト	1	3	3	
	65年間のライフサイクルコスト	3	3	9	
E 施工性	施工実績 ※	2	3	6	
	その他、施工品質の均一化や工程の短縮等、施工性を高める特筆事項	2	3	6	
※ この評価項目(細目)が、「技術条件書」に記載の基準または条件を満たさない場合は、それ以外の評価項目(細目)について、審査を行わない。→ 非選定				配点計(基礎的な項目)	66
				配点計(加点項目)	18
				配点合計	84

<各基準ごとの採点基準(ただし、防錆については除く)>

採点基準	
評価	点数
基準(標準)を大幅に上回るとともに、特に大きな効果が期待できる。または、明らかに随一である。	3
基準(標準)を上回っていることが明らかで、大きな効果が期待できる	2
概ね基準を満たしている	1
基準を満たしていない	0

<A性能基準のうち、防錆の採点基準>

採点基準	
評価	点数
基準を満たしている	1
基準を満たしていない	0

採点基準表

公募する新技術: 東京都渋谷合同庁舎(仮称)改築工事における施工性に優れた給水配管に関する技術

1. 公募要領の確認

- ・適合している。→ 2. へ
 - ・適合していない。→ 非選定 不適合要件(1つ以上で非選定)
- | |
|---------------------------|
| 6(1)(2)(3)(4) |
| 7(1)(2)(3)(4)(5)(6)(7)(8) |

2. 対象施設の工事への適合性

- ・工事に適合する可能性がある技術である。→ 3. へ
- ・工事に適合しない技術である。→ 非選定

3. 技術審査

評価項目	細目	重み係数	採点基準	配点
A 性能基準	耐火性(防火区画に対する対策) ※	3	1	3
	耐食性 ※	3	3	9
	その他、性能を高める技術や提案(耐震性、接続部の抜け防止対策等)	2	3	6
B 機能性	漏水防止への配慮	3	3	9
	水質安全性 ※	3	1	3
	その他、機能性を高める工夫や特筆事項(第三者評価等)	2	3	6
C 先進性	特許等の取得状況、技術論文の公表等	2	3	6
D 経済性	イニシャルコスト	2	3	6
E 施工性	施工実績 ※	2	3	6
	工程への影響、制約条件(納期、特殊な加工工具、管接合後から通水までの所要時間等)	3	3	9
	施工の簡便性	3	3	9
	その他、施工品質の均一化や工期の短縮等、施工性を高める特筆事項(施工品質の確保が容易なもの)	2	3	6

※ この評価項目(細目)が、「技術条件書」に記載の基準または条件を満たさない場合は、それ以外の評価項目(細目)について、審査を行わない。 → 非選定

配点計(基礎的な項目)	60
配点計(加点項目)	18
配点合計	78

＜各基準ごとの採点基準(ただし、耐火性、水質安全性については除く)＞

採点基準	
評価	点数
基準(標準)を大幅に上回るとともに、特に大きな効果が期待できる。または、明らかに随一である。	3
基準(標準)を上回っていることが明らかで、大きな効果が期待できる	2
概ね基準を満たしている	1
基準を満たしていない	0

＜耐火性及び水質安全性の採点基準＞

採点基準	
評価	点数
基準を満たしている	1
基準を満たしていない	0